

令和4年度 帷子小学校 学校評価保護者アンケート集計結果

日頃より、本校の教育活動にご理解ご支援いただきありがとうございます。過日、実施いたしました本年度の学校評価保護者アンケートの集計結果がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。皆様からいただきました貴重なご意見をもとに更に本校の教育活動を改善・充実させていきたいと思っております。ご多用中のところご協力ありがとうございました。

12月実施 回収数 234

No.	評価項目内容	A	B	C	D	E	
		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	
		0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	子どもは、安心して楽しく学校に通っている。						
2	子どもは、前向きに学習に取り組んでいる。						
3	子どもは、運動会・遠足(宿泊体験学習)・コンサートなどの行事を楽しみにしている。						
4	子どもは、進んで挨拶に取り組んでいる。						
5	子どもは、困ったことがあったときに、相談する人がいる。						
6	子どもは、友達の考えを大切にしながら、自分の考えを伝えている。						
7	子どもは、進んで自分の考えを表現したり、役割を引き受けたりしている。						
8	学校は、楽しく、分かりやすい授業をするために、授業方法・形態・内容等を工夫している。						
9	学校は、保健だよりや学級指導を通して、病気の予防や健康増進に努めている。						
10	学校は、子どもの学習や生活の様子を適切に評価し、分かりやすく保護者に伝えている。						
11	学校は、教育方針や教育活動の様子を、分かりやすく家庭や地域に伝えている。(学校説明会・学校だより・学年だより・各種通知・学校ホームページなど)						
12	学校は、学校生活のきまりや約束事などを共通して指導し、規範意識のしっかりした学校づくりに努めている。(学校生活のきまり・長期休業の過ごし方のプリントなど)						
13	学校は、保護者・教職員が共通理解のもと、円滑にPTA活動を行っている。						
14	学校は、毎月の避難訓練や不審者対応訓練、交通安全教室などを計画的に行い、子ども・教職員共に命を守る実践的な訓練を行っている。						
15	学校は、子どもの一斉下校指導や校門等の施錠・解錠体制を確立し、子どもの登下校時の安全を確保している。						
16	学校は、メール配信システム等にて、重要情報の迅速な伝達体制を確立している。						

No.	質 問	A	B	C	D	E	
		そう思う	ややそう思	あまり思わない	思わない	わからない	
		0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	わたし <small>まいにち</small> 私は 毎日学校へ行くのが楽しい。						
2	わたし <small>じゅぎょう</small> 私は 授業が分かりやすく楽しい。						
3	わたし <small>ひなん</small> 私は 避難訓練や不審者対応訓練、交通安全教室などに真剣に取り組んでいる。						
4	わたし <small>うんどうかい</small> 私は 運動会・遠足(宿泊体験学習)・コンサートなどの行事が楽しい。						
5	わたし <small>たてわ</small> 私は 縦割り活動などの、ほかの学年との交流が楽しい。						
6	わたし <small>たの</small> 私は 「みんなが楽しく元気な帷子小学校」のテーマを意識して活動に取り組んでいる。						
7	わたし <small>がっこう</small> 私は 学校のきまりを守っている。						
8	わたし <small>だれ</small> 私は 誰に対しても自分から進んであいさつをしている。						
9	わたし <small>けんこう</small> 私は 健康のために、手洗いに進んで取り組んだり、バランスのよい食事をこころがけたりしている。						
10	わたし <small>なかよ</small> 私は 仲良しの友達がいる。						
11	わたし <small>こま</small> 私は 困ったときに相談する人がいる。						
12	わたし <small>ともだち</small> 私は 友達の考えを大切にしながら、自分の考えを伝えている。						
13	わたし <small>すす</small> 私は 進んで自分の考えを表現したり、役割を引き受けたりしている。						

<保護者アンケート・児童アンケートより>

今年度もコロナ禍のため感染症対策を行いながらの教育活動ではあったが、ガイドラインの改定によって制限が緩和されたことで、これまで縮小されていた行事が実施できたり、学習形態に広がりをもたせたりすることができるようになった。

その結果、児童アンケートの「2」の「授業が分かりやすく楽しい」の項目で、A・B評価が昨年度よりも増加した。これまでの周囲に人がいるにもかかわらず、一人で過ごさなければならぬ状況から、ペアやグループ学習ができるようになり、「共に学ぶ喜び」を感じられたことが要因だと考えられる。また、校外での学習が可能になったことで、体験的に学ぶことができるようになったことも一因であると考えられる。

さらに、保護者と児童ともに「行事が楽しい」の項目についても、A・B評価が増加している。今年度は、昨年度実施することができなかった、運動会・コンサート・宿泊体験学習を実施することができた。アンケートの中でも「自宅で練習する姿が見られた」や、「楽しみなことを口にしている」など、各々の行事に対して前向きに取り組む子どもの姿が見られた。

昨年度に引き続き、生活科や総合の学習で身近な地域の材と関わることができた。幼稚園・保育園との交流、商店街、帷子川などである。「こんなことをしてみたい」という、子どもたちの思いから、学級ごとに特色のある単元を構想することができた。また、生まれた課題について自ら考え、その実現に向けて進んで取り組む姿が見られた。

ICT 機器の活用については、デジタル教科書を用いて指導する学級が多く見られた。例えば、国語では本文中の挿絵を大きく見せたり、子どもが発言した文に線を引いたりすることで、クラス全体に見やすい大きさで大切な部分を確認することができるようになった。算数では、図形が変形する様子を見せるなどしたことで、言葉で説明するだけでは分かりにくい部分もより理解がしやすくなるなどの効果があった。

昨年度導入された児童一人ひとりに配付されているタブレット端末については、自分の考えを広げたりまとめたり、友達と意見を共有したりするなど、新たな学習方法を展開しているところである。今年度、昨年度に比べて使用する学年、使用方法に広がりが見られた。例えば低学年では、学習の振り返り等の場面で声を録音し学習の記録を残していった。そのようにすることで、読み書きに苦手意識をもつ児童でも進んで学習に取り組めるようになるなど、効果的な使用方法を見つけることができた。また、中高学年では、総合的な学習の時間等において、ロイロノートのアンケート機能を活用して全校児童への調査を行うなど、タブレット端末を使用したことで学習に広がりや深まりが見られた。

一方で、学級閉鎖時のタブレット端末の活用方法などについては十分なものとは言えず、今後の検討課題としたい。

PTA 活動については、本部役員をはじめ、各委員会の取組、登下校時の安全パトロール、運動会やコンサート時の受付などの活動によって、学校運営や児童の安全確保の充実につながっている。一方で、「PTA 活動が必須なのは厳しい」といった声も見られ、それも今後の検討課題となった。

様々なご意見をいただき、ありがとうございました。学校評価アンケートの時期のみならず、ご意見・ご質問等ございましたら、その都度学校にお伝えください。